



☆どうぞご自由にお持ち帰りください☆

3月となりました。暖冬ですが、思わぬ事態となってきました。

御存知のとおり、新型コロナウイルス感染が広がりつつあります。WHOはパンデミックになる可能性のレベルを一段とあげました。(2020年2月28日現在)



中国の武漢で起こった新型コロナウイルス感染(COVID-19)は、1月下旬に武漢でアウトブレイクし、現在中国7万9千人、世界で6千人に増加しました。その広がり、勢いを増していると言ってもよいです。中国ではピークは過ぎたといえ、1900人が毎日感染しており、決して解決した状況ではありません。日本より発症数が当初少なかった韓国では3000人に増加し、イタリア1100人、イラン590人と2週間で一気に広がりました。日本はクルーズ船(701人)をのぞくと247人ですが、毎日患者数は増加しています。

この新しいウイルスの今後については、誰も予想はできません。ただこれまでのインフルエンザとは明らかに異なる振る舞いです。それは恐らく動物から人に感染するように変異したウイルスであるので、人は抗体を持っていません。このウイルスに接した場合、人は一度は感染します。感染が確認された症例は、80%は風邪ほどの軽症、14%が肺炎などの重症、6%は危機的になると言われています。

一人の感染者が見いだされた場合に、インフルエンザと同様、濃厚接触者は感染が起きます。接触者の数によりますが、平均2名程度と言われています。多くは濃厚接触者、家族内感染です。中国のデータでは濃厚接触者の2%から5%に感染が起きていました。すなわち感染者との接触をなるべく減らすのが、もっともよい感染予防法です。アウトブレイクした中国では、武漢ならびに湖北省からの人の移動を遮断しました。感染者を隔離して、人との交流を全くしなければ理論的には感染が起きないこととなります。日本での感染の広がりを見ますと、東京に来た軽症の中国人から感染が起これ、まず東京付近で市中に感染者が広がり、交通機関を通じて各地に感染が広がったと考えられます。非常に大きな交通のライン=新幹線が通る地域の大都市は人との接触を避けることができず市中感染となったと考えられます。北海道は特別です。交通の入り口が千歳空港から札幌に集約されているので、空港に感染者が東京から来て、そこから全土に広まったと考えられます。(ウラに続く)

【お知らせ】

3月糖尿病教室、アラカンカフェ、健康ワンポイント教室(腎臓教室)は中止とさせていただきます。再開が決まりましたらご案内いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

感染して発症までの期間が2週間と長い（それ以上という症例も報告されている）、軽症の人が多くことより、現在、風邪症状と新型コロナウイルスを見分けることが難しく、市中にどこまで広がっているか正確にはつかめません。交通を遮断することは困難です。全国に広がるのは時間の問題となります。広がり方のスピードを遅くする、ピークを小さくすることは可能と考えられます。

今後は、個人レベルでの防御策が重要となってきます。できるだけ人との接触をさける、人ごみには行かない、風邪症状があれば自宅待機する、咳痰がある時はマスクを着用する、そして手洗いを頻回に行うのが重要です。アルコール手指消毒の併用も効果があります。

一人一人が遵守することにより、できるだけ感染の広がりを緩やかにすることが可能です。

その間に迅速診断キットを普及させ、治療薬の開発を行います。治療薬としてはいくつかの候補薬があり、臨床研究が開始されています。またワクチンの開発も進められています。これらが効果を発揮するのは、半年から一年かかります。その間の感染を最小限にするのは、一人一人の努力にかかっています。



今回、全国一律小中学休校という措置がなされました。子供の感染は、COVID-19は非常に少ないのが特徴です。感染していないのか、感染しているが不顕性感染であるのかははっきりしません。インフルエンザの場合は、子供にまず感染が広がり、その後に地域に広がり高齢者が重症化することが知られています。3月が大事な時期と考えています。当院でもさまざまな段階を想定して、対処をしていきます。



（国からのお願い）

国民の皆様におかれては、風邪や季節性インフルエンザ対策と同様にお一人お一人の咳エチケットや手洗いなどの実施がとても重要です。感染症対策に努めていただくようお願いいたします。次の症状がある方は「帰国者・接触者相談センター」（最寄りの厚生センター内に設置：平日（日中）射水支所 0766-56-2666、夜間休日 射水支所 090-6816-1471 又は 夜間休日（県）090-1532-8209）にご相談ください。

- ・風邪の症状や 37.5℃以上の発熱が4日以上続いている。
（解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます）
- ・強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある。

※ 高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合

＜お近くのクリニックに通院していただけます＞

厚生労働省は、病状が安定した方にはクリニックなど「かかりつけ医」での治療を推奨しております。「真生会まで遠くから来ている」「薬をもらうだけなのに待ち時間が長い」と通院にご負担を感じておられる方はお住まいの地域の医療機関にご紹介（逆紹介）させていただくことが可能です。真生会富山病院は地域の先生方と協力し「地域と連携する医療」を提供したいと考えております。逆紹介のご要望は主治医や近くのスタッフにお申し出ください。